

スタートアップ・エコシステム形成に向けた活動報告を実施

「スタートアップ・エコシステム拠点都市」 サイトビジット・報告会

8月17日(火)、Central Japan Startup Ecosystem Consortium※(代表:水野中経連会長)は、内閣府による初のサイトビジットを受けるとともに報告会を実施した。

サイトビジットは、内閣府が各都市のスタートアップ・エコシステム形成に関わるインキュベーション施設やアントレプレナーシップ教育の現場訪問を行うものである。当日は、拠点都市選考委員の上山総合科学技術・イノベーション会議有識者委員をはじめ、内閣府、文部科学省、経済産業省の職員らが名古屋大学およびナゴヤ イノベーターズ ガレージの視察を行った。中経連からはイノベーション委員会の委員長を務める竹中副会長が対応者として出席した。

報告会では、「Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium」と「浜松市スタートアップ戦略推進協議会」による計画の進捗報告、起業支援者・中経連・名古屋大学・愛知県による取り組み事例の報告、スタートアップによる事業報告に続き、意見交換を実施した。スタートアップからは、法律改正の迅速化に関する要望など忌憚のない意見が出され、予定時間を超えて活発な議論が交わされた。



(タスクフォース部 牛田 芳克)

経済産業副大臣による ナゴヤ イノベーターズ ガレージの視察

8月23日(月)、長坂経済産業副大臣がナゴヤ イノベーターズ ガレージを訪れ、中部圏のスタートアップや支援機関の取り組みを視察し意見交換を行った。中経連からは水野会長が対応者として出席した。

施設内の紹介後、スタートアップ・エコシステム拠点形成計画の進捗や取り組み事例を報告し、今後とも中部圏のスタートアップ・エコシステムの形成に向け、産学官の連携によるコンソーシアム活動の推進・強化に取り組んでいく旨を伝えた。その後、スタートアップによる事業報告と意見交換を行った。



長坂副大臣は、「水野会長の下、コンソーシアムメンバーがしっかりと支援を行っており、スタートアップの可能性と熱量を感じた。国としても現場の声を聞きながら応援体制の構築に注力していくので、経産省の支援制度などを活用いただきたい。2050年のカーボンニュートラルなどの課題に対し、皆でコラボレーションしながらスタートアップの成長や増加を促進させ、中部および日本の発展につながる好循環を形成していただきたい」と述べた。



(タスクフォース部 奥村 知記)

※Central Japan Startup Ecosystem Consortium:中経連、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市をはじめ172企業・団体・大学などで構成。2020年7月に内閣府から「スタートアップ・エコシステム」の「グローバル拠点都市」に認定された。